

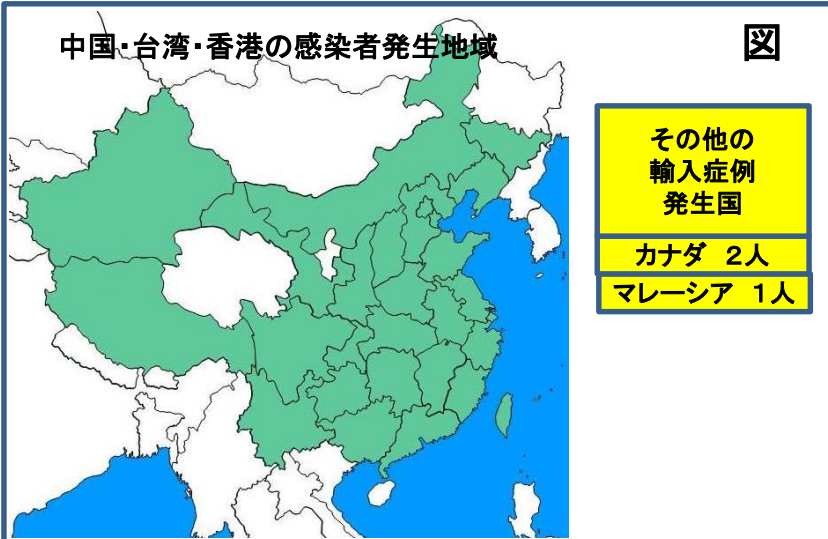
鳥インフルエンザのヒトへの感染事例について

平成30年3月30日

厚生労働省健康局結核感染症課新型インフルエンザ対策推進室

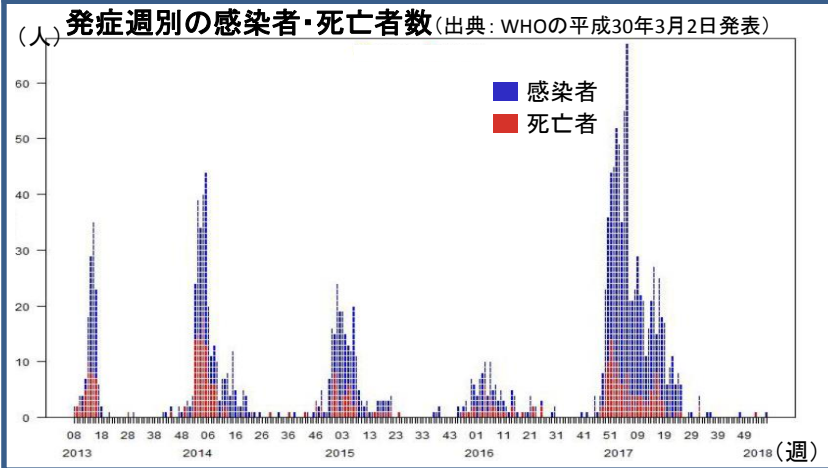
鳥インフルエンザA(H7N9)のヒトへの感染の対応について

経緯：平成25年3月以降、新たな鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルスのヒト感染患者1567名の報告がある。感染患者のうち、少なくとも615の死者が報告されている。発生地域は中国(4市19省4自治区)、香港特別区・マカオ特別区・台湾・マレーシア(輸入症例)・カナダ(輸入症例)(図)。平成28年末から中国における感染者の急な増加がみられ、過去の流行期に比べて発生規模が大きくなっているが、感染者の状況やウイルスの性質は過去の流行期と同様とされており、継続して状況を注視している。
(平成30年3月2日WHO発表に基づく。)



- 主な特徴
- 感染源は未確定だが、生きた家きん等との接触による可能性が最も高い。
 - 持続的なヒト-ヒト感染は認められていない。
 - 抗ウイルス薬は一定の効果あり。
 - ヒトにおける病原性や感染性の変化は認められない。

- 厚生労働省の主な対応
- 法的整備：感染症法に基づく二類感染症に位置づけ
検疫法に基づく検疫感染症に位置づけ
 - 検疫：検疫所の検査体制の整備、検疫所での注意喚起
(ポスターや健康カード等)
 - 国内監視体制：自治体(地方衛生研究所)の検査体制の整備
 - 情報収集・発信：WHOや専門家ネットワーク等を活用した情報収集・分析、
国立感染症研究所リスクアセスメントの発信
 - ワクチン：パンデミック発生時にプロトタイプワクチンとして対応可能
H7N9のワクチンは臨床試験を実施中

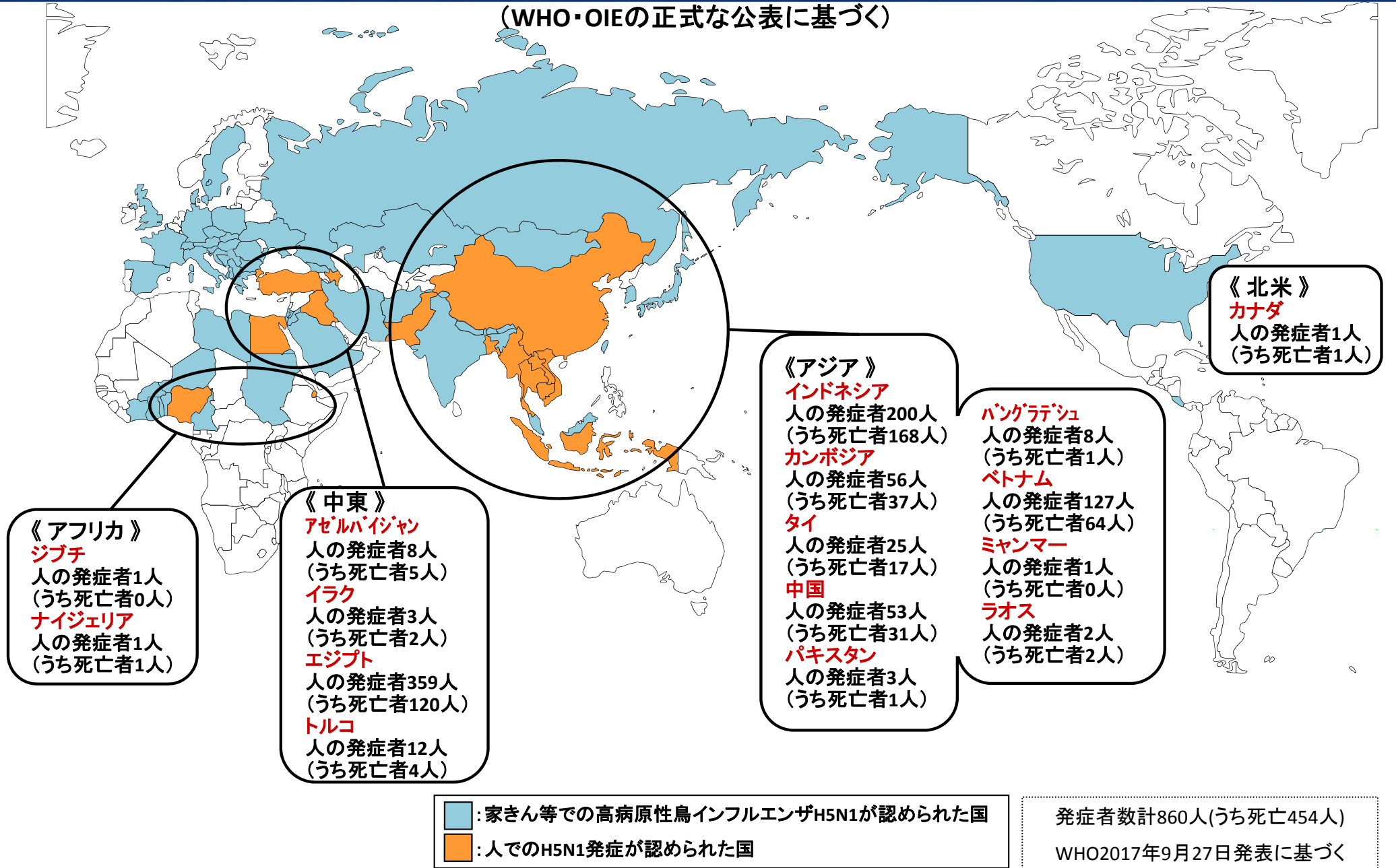


<WHO発表の感染者数(死亡者数)> ※2018年3月2日WHO発表まで

2017年										2018年	
3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
82 (12)	97 (24)	56 (6)	23 (4)	2 (0)	5 (2)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (0)

鳥インフルエンザA(H5N1)発生国及びヒトでの確定症例(2003年11月以降)

(WHO・OIEの正式な公表に基づく)



WHOに報告されたヒトの鳥インフルエンザA(H5N1)確定症例数

	2003～2009年		2010年		2011年		2012年		2013年		2014年		2015年		2016年		2017年		合計	
	症例数	死亡数	症例数	死亡数	症例数	死亡数	症例数	死亡数	症例数	死亡数	症例数	死亡数	症例数	死亡数	症例数	死亡数	症例数	死亡数	症例数	死亡数
アゼルバイジャン	8	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	5
バングラデシュ	1		0	0	2	0	3	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	8	1
カンボジア	9	7	1	1	8	8	3	3	26	14	9	4	0	0	0	0	0	0	56	37
カナダ			0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
中国	38	25	2	1	1	1	2	1	2	2	2	0	6	1	0	0	0	0	53	31
ジブチ	1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
エジプト	90	27	29	13	39	15	11	5	4	3	37	14	136	39	10	3	3	1	359	120
インドネシア	162	134	9	7	12	10	9	9	3	3	2	2	2	2	0	0	1	1	200	168
イラク	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2
ラオス	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
ミャンマー	1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
ナイジェリア	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
パキスタン	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1
タイ	25	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	17
トルコ	12	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	4
ベトナム	112	57	7	2	0	0	4	2	2	1	2	2	0	0	0	0	0	0	127	64
合計	468	282	48	24	62	34	32	20	39	25	52	22	145	42	10	3	4	2	860	454

注: 確定症例数は死亡例数を含む。

WHOは検査で確定された症例のみ報告する。

(2017年9月27日現在)

2017年以降の世界における鳥インフルエンザウイルスの人での感染事例

<エジプト>

・H5N1: 3例 (0例)



<中国>

・H7N9: 602例 (4例)
 ・H5N6: 2例 (2例)
 ・H9N2: 8例 (5例)
 ・H7N4: 1例 (1例)

<インドネシア>

・H5N1: 1例 (1例)

○亜型別の発生状況

※()内の数字は9月以降の感染件数

	2017年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2018年 1月	2月
H5N1		2		1					1					
H5N6											1	1		
H7N4												1		
H7N9	227	106	82	97	56	23	2	5	1		1		1	1
H9N2		1		2					1			2	1	1

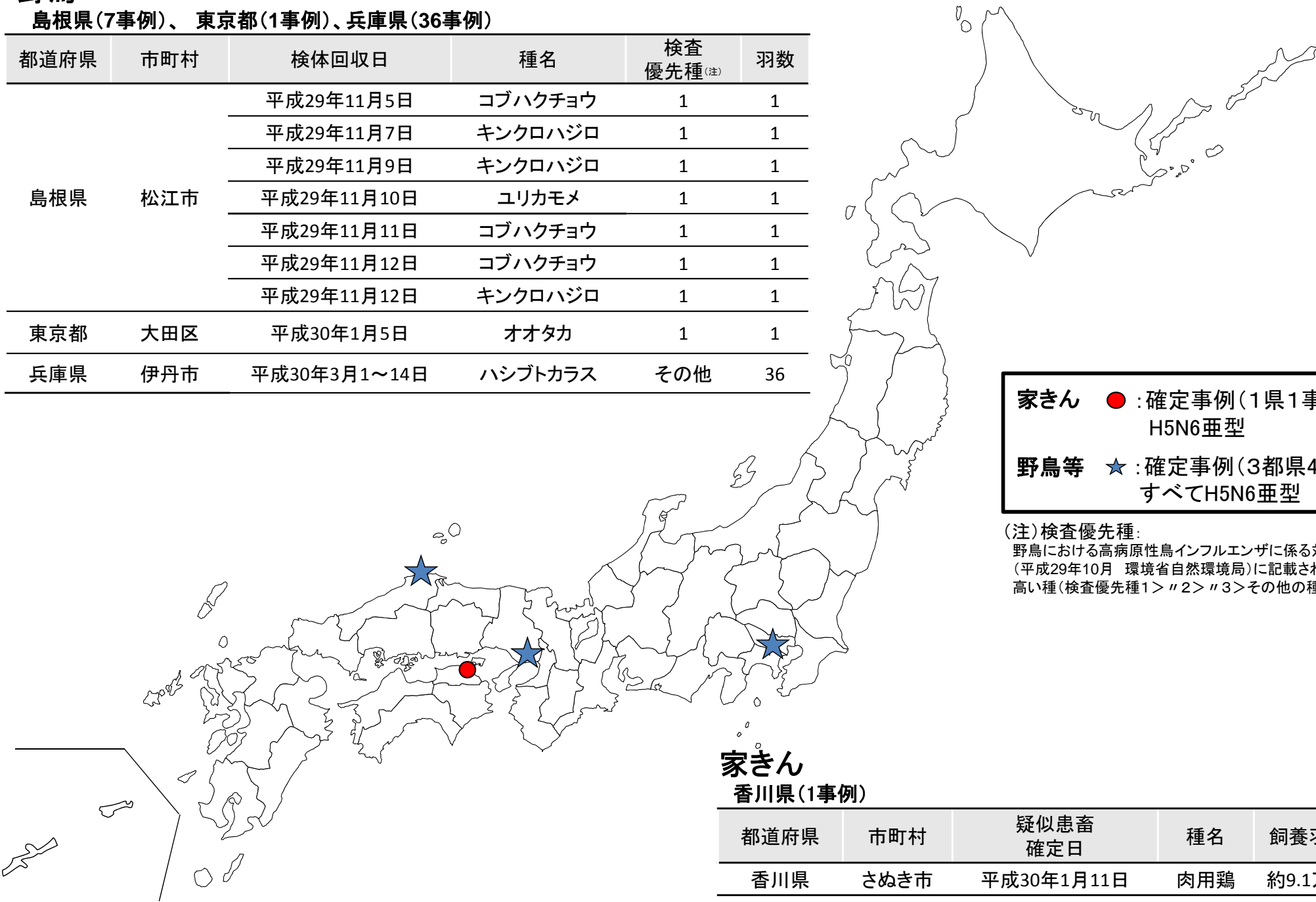
国内における高病原性鳥インフルエンザの発生状況(平成29年11月以降)

(平成30年3月26日時点)

野鳥

島根県(7事例)、東京都(1事例)、兵庫県(36事例)

都道府県	市町村	検体回収日	種名	検査優先種(注)	羽数
島根県	松江市	平成29年11月5日	コブハクチョウ	1	1
		平成29年11月7日	キンクロハジロ	1	1
		平成29年11月9日	キンクロハジロ	1	1
		平成29年11月10日	ユリカモメ	1	1
		平成29年11月11日	コブハクチョウ	1	1
		平成29年11月12日	コブハクチョウ	1	1
		平成29年11月12日	キンクロハジロ	1	1
東京都	大田区	平成30年1月5日	オオタカ	1	1
兵庫県	伊丹市	平成30年3月1~14日	ハシブトカラス	その他	36



家きん ● : 確定事例(1県1事例)
H5N6亜型

野鳥等 ★ : 確定事例(3都県44事例)
すべてH5N6亜型

(注)検査優先種:
野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル(平成29年10月 環境省自然環境局)に記載された感染リスクの高い種(検査優先種1>2>3>その他の種)

家きん 香川県(1事例)

都道府県	市町村	疑似患畜 確定日	種名	飼養羽数
香川県	さぬき市	平成30年1月11日	肉用鶏	約9.1万羽